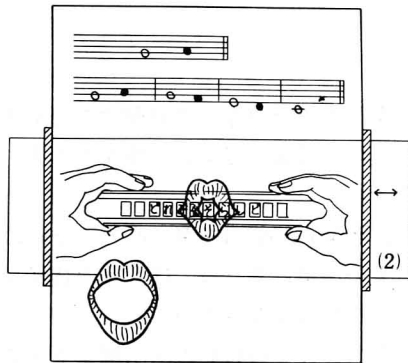
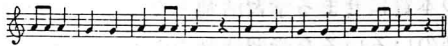


TP1-2



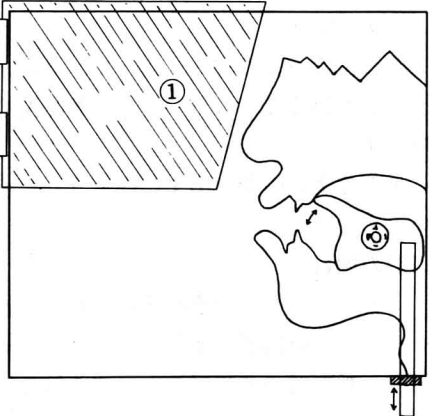
- 教師のリズム奏を模倣奏させる。
 - 「そ」と「ら」の音で吹音と吸音の練習
 - TP1-2を左右に移動させて吹音と吸音（「そ」と「ら」）の関係を体得させる。
 - 口唇を移動して吹くのではなく、ハーモニカを移動して音程をつくることに注意する。
 - 楽譜になれさせる。
(TP1の①を取りのぞく)
 - 指示棒で「そ、ら」を指しながら次の旋律を吹かせる。(あるいは、聴奏させる。)
- 
- 音域を広げる。
(TP1の②を取りのぞく)

○ TPの作り方

- 口唇、手、ハーモニカはカラーシートで作る。
- 手とハーモニカは平行移動できるように作る。
- TPの音符やハーモニカの音穴は吹音と吸音を色分けする。(例; 吹音→青, 吸音→黄)

② たて笛の吹き方 (小学校中学年)

- ねらい 美しい音で吹けるようにタンギング奏を身につける。

T	P	活用の仕方・留意点
<p>TP1-1</p> 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 美しい音を発見しよう。 • 教師自ら既習の歌唱教材で、悪い吹き方（タンギングをつけない）と美しい音で吹き方を示して比較させる。 • 美しい音を出すにはどうしたらよいか、吹かせながら考えさせる。 • タンギングによって美しい音が出ることに気づかせる。(気づかせるための発問を適切にする) ○ 身近なことばでタンギングの練習をする。 • 英語の1 2 3 4の発音から2 (two) を抽出して、twoの発音を練習させる。 (twoの発音の舌の動きを意識させる。) • TP1-1を使って舌の動きが正しくできるようにする。(two(tu)を発音させながら) ○ たて笛でタンギングの練習をする。 • たて笛を下口唇の上に軽くのせ、浅くくわえる。TP1-2 • 単音(HかG)でタンギング奏をする。